



SUZUKA CIRCUIT

**HONDA**  
Honda Mobilityland

# 鈴鹿サーキットのサステナビリティ経営について

ホンダモビリティランド株式会社

おれはサークットが欲しいんだ。  
レースをやらなければ、  
クルマは良くならない。

本田 宗一郎



そこには遊園地を開設すべきだ。  
それは自動車遊園地で、  
自分で操縦する楽しみを味わえる  
乗りものだけにするんだ。

藤澤 武夫

Since 1962



大切な米を作る  
田んぼをつぶしてはいけない

本田 宗一郎

# 鈴鹿サーキットで開催する主なモータースポーツイベント



## モータースポーツ

## 交通教育

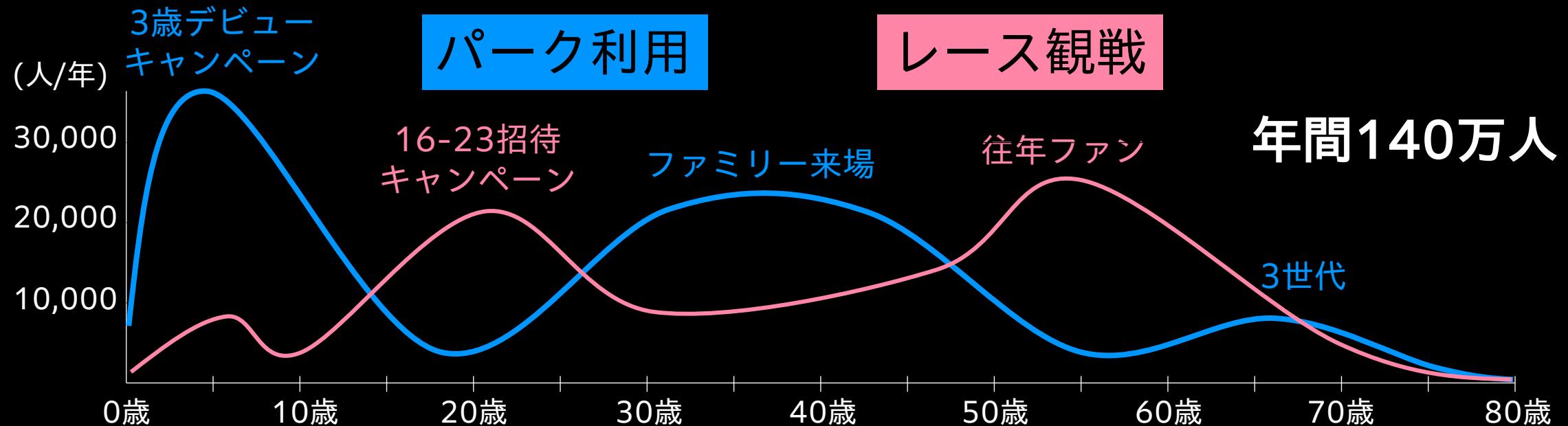


## パーク

## ホテル・レストラン



# 鈴鹿サーキット 来場者年齢



モビリティ業界における次世代のユーザー・ファン・人材づくり

# 国際イベント開催要件



# FIA / Formula 1 の取り組み



Photo : FIA



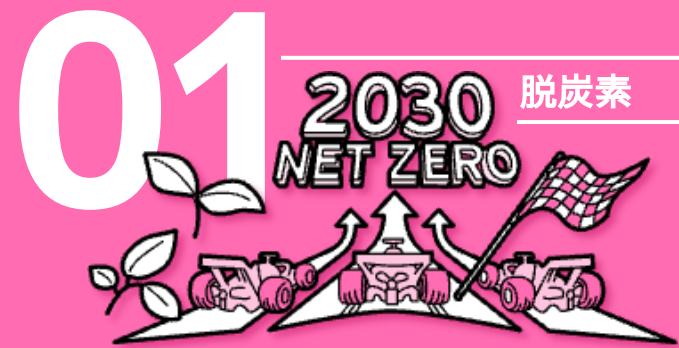
Photo : ©Formula One World Championship Limited

**F1 2026**

MAR 06-08	ROUND 1   MELBOURNE	JUL 24-26	ROUND 13   BUDAPEST
MAR 13-15	ROUND 2   SHANGHAI	AUG 21-23	ROUND 14   ZANDVOORT
MAR 27-29	ROUND 3   SUZUKA	SEP 04-06	ROUND 15   MONZA
APR 10-12	ROUND 4   SAKHIR	SEP 11-13	ROUND 16   MADRID*
APR 17-19	ROUND 5   JEDDAH	SEP 24-26	ROUND 17   BAKU
MAY 01-03	ROUND 6   MIAMI	OCT 09-11	ROUND 18   SINGAPORE
MAY 22-24	ROUND 7   MONTREAL	OCT 23-25	ROUND 19   AUSTIN
JUN 05-07	ROUND 8   MONACO	OCT 30-01	ROUND 20   MEXICO CITY
JUN 12-14	ROUND 9   BARCELONA - CATALUNYA	NOV 06-08	ROUND 21   SÃO PAULO
JUN 26-28	ROUND 10   SPIELBERG	NOV 19-21	ROUND 22   LAS VEGAS
JUL 03-05	ROUND 11   SILVERSTONE	NOV 27-29	ROUND 23   LUSAIL
JUL 17-19	ROUND 12   SPA-FRANCORCHAMPS	DEC 04-06	ROUND 24   YAS ISLAND

\* SUBJECT TO FIA CIRCUIT HOMOLOGATION

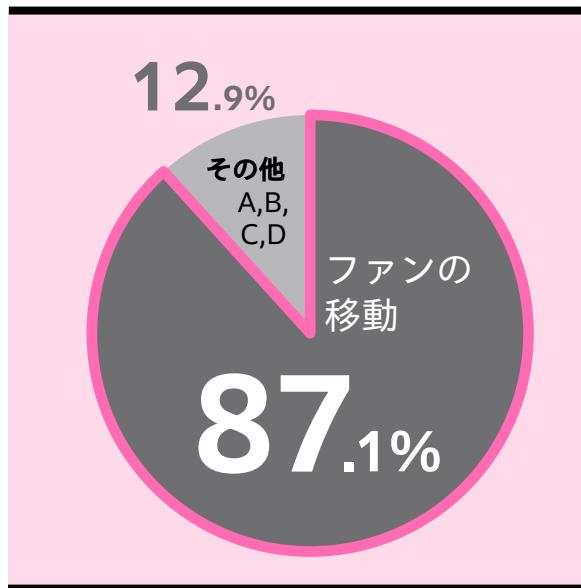
# 6つの視点で実現するサステナブルな FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIX



# 01



## 2030年ネットゼロ 実現に向けた 炭素排出量の把握



排出源	2025* (t-CO <sub>2</sub> )
Scope 1 (発電機燃料)	0
Scope 2 (系統電力)	0
Scope 3 (Scope1,2 以外の間接排出)	2,723
ファンの移動	2,404
A ロジスティクス	182
B スタッフ移動/宿泊	110
C 廃棄物	17
D 運営車両	10

\* 温室効果ガス排出量算定方法については、GHGプロトコルを主な手法として参照しています。

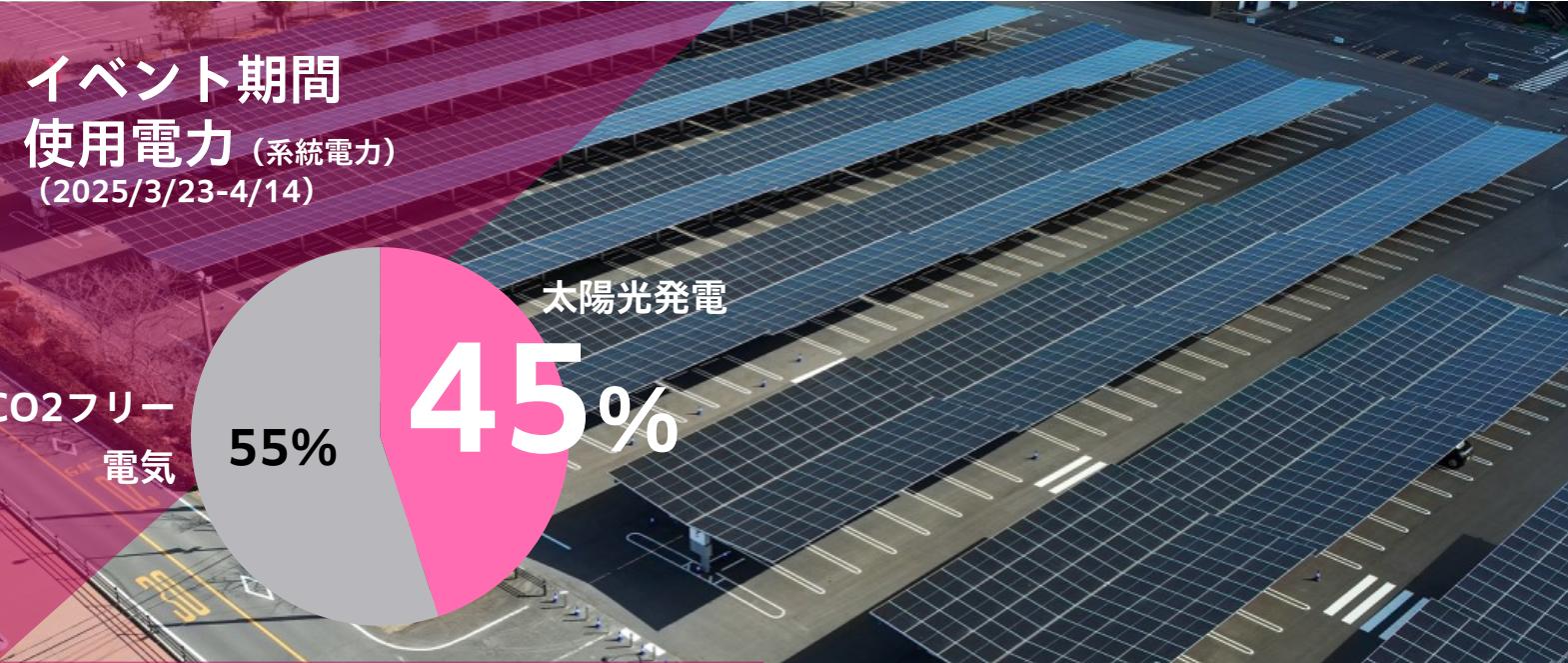
# 02



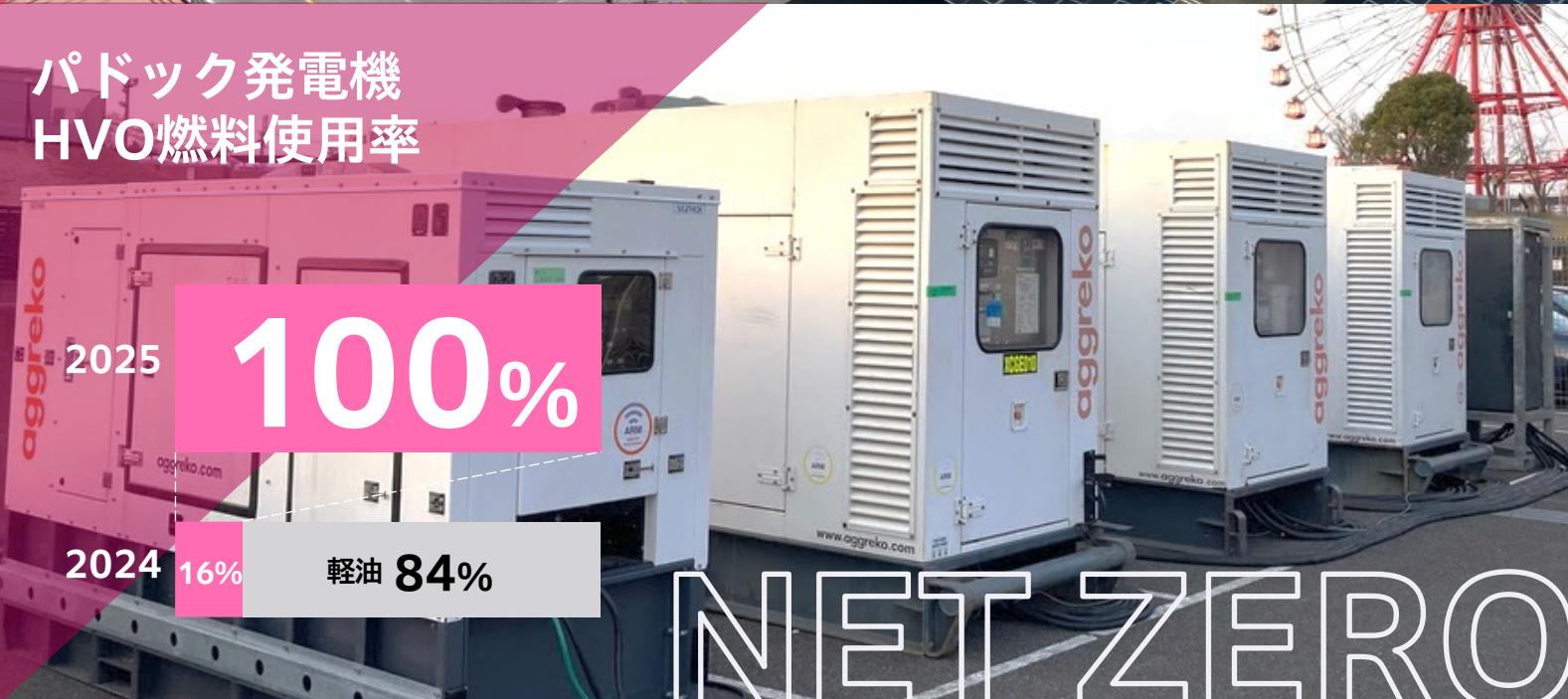
エネルギー

## Scope1,2のカーボン ニュートラルを達成

回避できない排出量は  
グリーン電気の導入と  
カーボンクレジットでオフセット



## パドック発電機 HVO燃料使用率



# 03



廃棄物

## 分別回収の徹底が、 リサイクル率 向上の鍵

混合ゴミの組成調査により  
分別精度を測定&改善



### リサイクル率

4.6%<sup>UP</sup>

ダンボール・カン・PETボトル・プラスチック・  
刈草・枝葉・生ごみ・**廃食油・ビン(ガラス)**

2025  
(132 t)

46.1%

マテリアルリサイクル・  
コンポスト

53.9%

エネルギー  
リカバリー

0%

埋立て

2024  
(140 t)

41.5%

55.6%

2.9%



03



廃棄物

## シングルユース プラスチックの

提供

0  
ZERO

バイオマス容器



アップサイクル  
&  
資源循環



リターナブル  
アルミカップ



給水スポット



廃食油



液体石鹼



ペットボトルから  
缶飲料へ



紙袋



刈草・枝



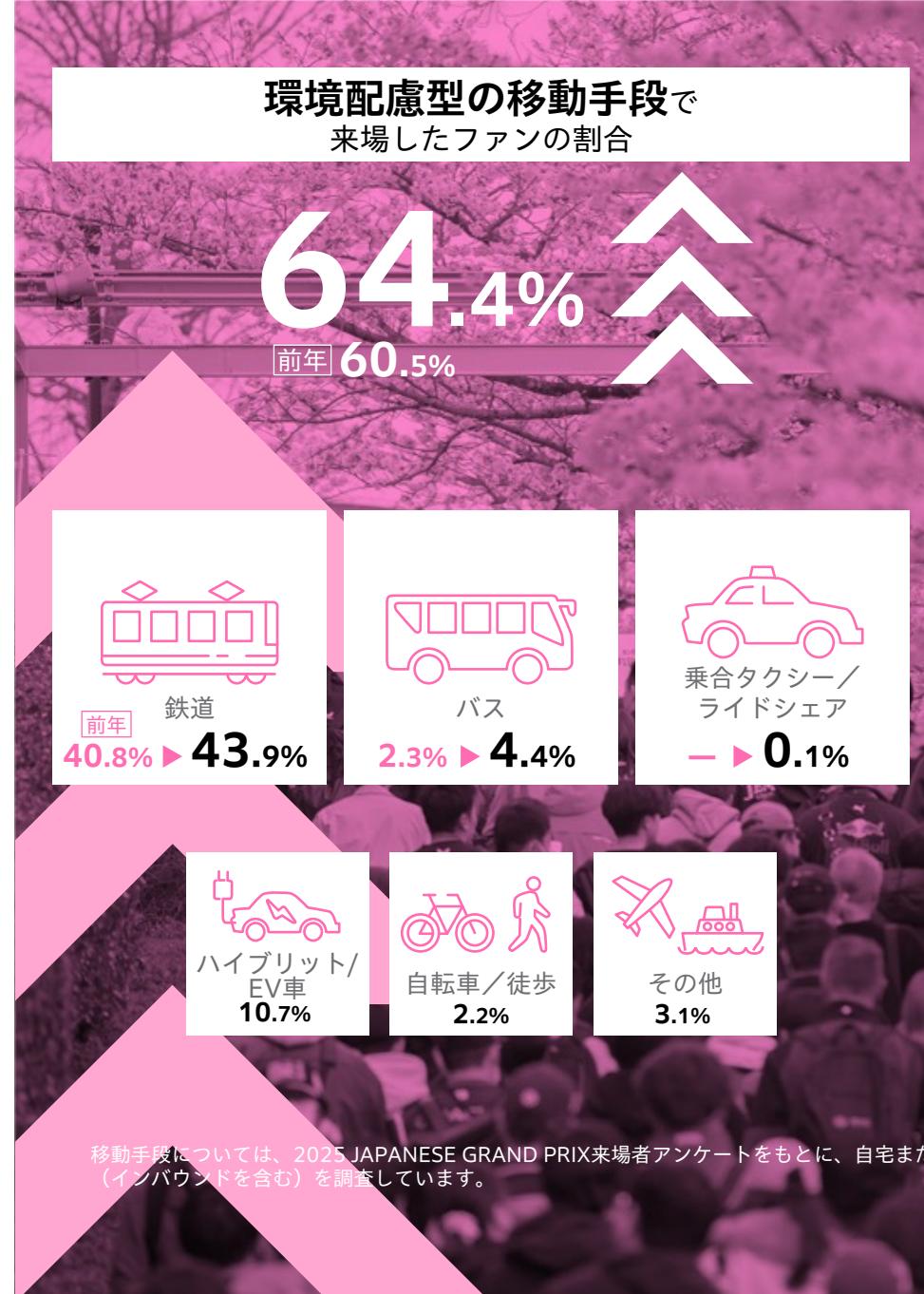
花壇肥料

# 04



ファンの移動

## “移動”から変える、 JAPANESE GRAND PRIX のネットゼロ



# 05

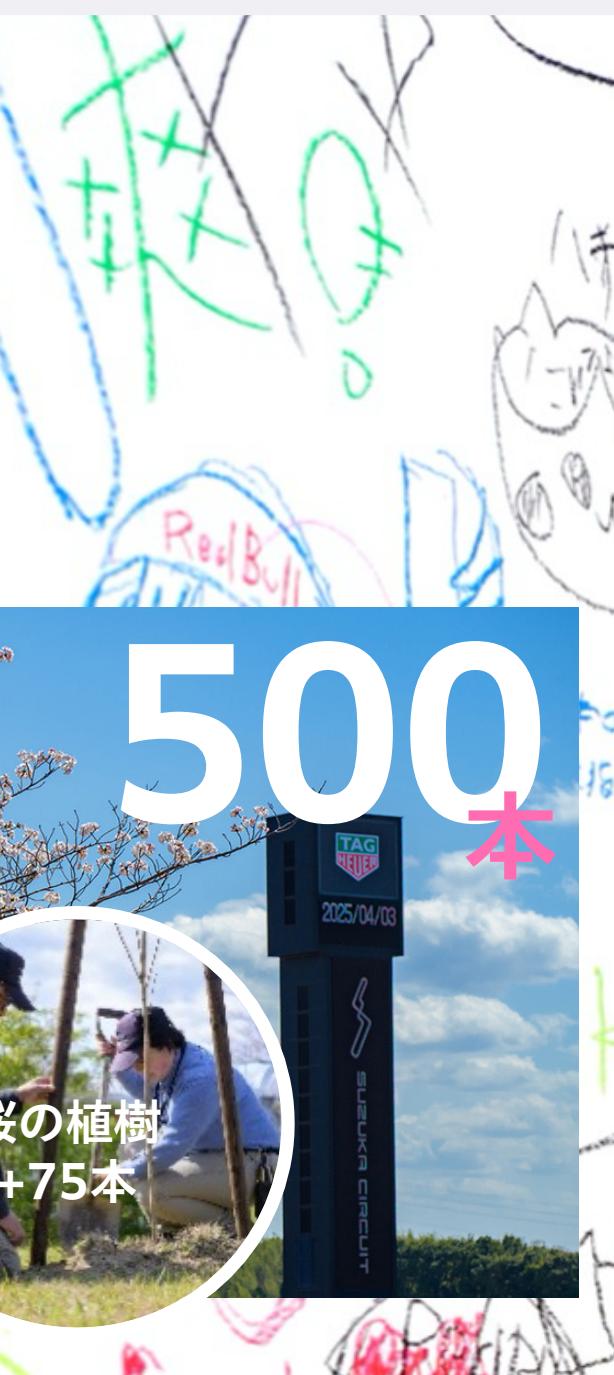
ウェルビーイングと自然

## 誰もが快適に過ごせる JAPANESE GRAND PRIX を目指して



# 500 本

TAG HEUER  
2025/04/03  
SUZUKA CIRCUIT



車いす観戦席（400席）

日陰スペース設置



おむつ替え・お着換え・お絵描きスペース



ベジタリアン対応メニュー（50店舗）

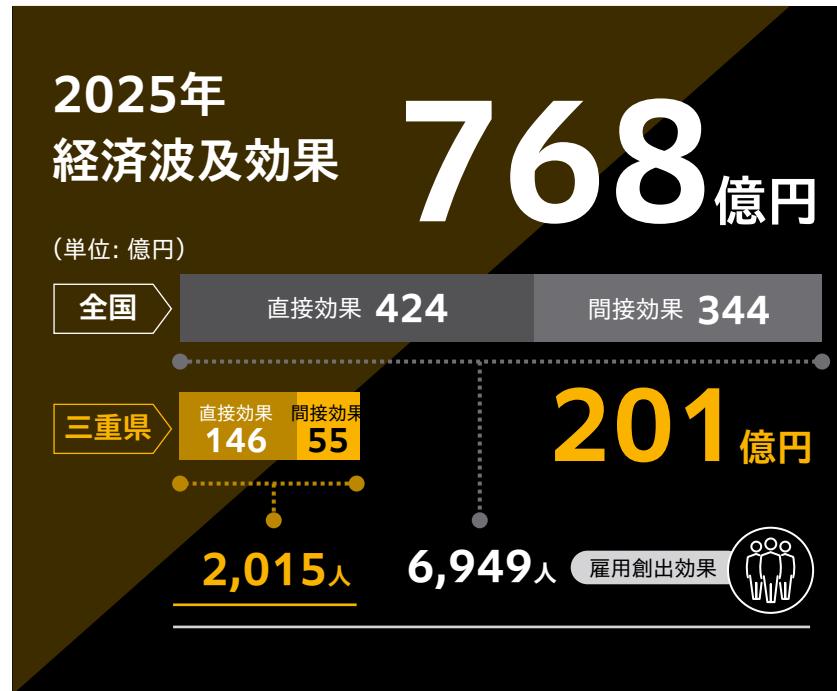


# 06



地域コミュニティ

## 地元と築く未来： 三重県経済への 実践的アプローチ



**JAPANESE GRAND PRIX年間取引実績**

三重県 **285** 企業／団体  
(全体の62.6%)

全体 **455** 企業／団体

**地元産品の活用事例**

三重の小麦粉「あやひかり」、  
四日市川村養蜂場の天然はちみつ  
を使用

パドック内で  
地元名産「伊勢醤油」を使用

地元の三重県産の  
食材伊勢海老とあおさを使用

©Mie Prefecture Tourism Federation

06



地域コミュニティ

## JAPANESE GRAND PRIXが 届ける次世代の学び と可能性

余剰食糧

約 7.8t



提供

こども食堂等

24人

インターン



地元学生によるインターンシップ、  
ボランティアとして参画いただくこと  
で、学生が国際イベントを通じて  
グローバルコミュニケーションを実  
践する機会を提供

4,000 家族

招待数



木曜・金曜には周辺地域から18歳以下のファミリーを招待し、モータースポーツに触れる機会を提供することで、地域産業への理解と興味喚起を促進



小学生

30人



# ホンダモビリティランドのサステナビリティ経営

自動車メーカーの課題

環境性能技術開発

耐久性能試験

技術PR

代替  
燃料

材料

共通の社会課題

再生可能エネルギー

廃棄物削減

資源循環

低炭素移動

ウェルビーイング

地域社会

電力

資源

移動

健康

社会

## 社会課題解決に向けた 実証フィールド活用



サステナビリティ経営に向けて

社会課題解決に向けた実証フィールド

**HONDA**  
Honda Mobilityland

世界から注目される国際イベントの開催



产学官

社会課題解決に繋がる技術・サービス

「サステナビリティパートナーシップ」へ

# OFFICIAL PARTNER



# SUSTAINABILITY PARTNER



※企業名での五十音順 / 敬称略

2025年12月現在

**HONDA**  
Honda Mobilityland